

日本野鳥の会筑豊支部 2024年度定期総会資料

行事名：日本野鳥の会筑豊支部 2024年度定期総会
開催日時：2024年2月11日（日）13時
会場：中屋公民館（福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋 242-1）
招集者：支部長・梶原剛二

本年の定期総会は4年振りに対面総会にて行います。2021年から2023年はコロナ禍で書面総会を強いられており、総会の本来の形である対面による議論ができませんでした。旧に復帰した今総会で一年間の方針と計画による議論を深め、さらなる発展のために多くのご参加を期待しています。

（事務局）

目次

議事次第	1	ご意見相談室	23
部門別活動報告と活動方針議事次第	2		
事務局	2	公益財団法人日本野鳥の会	23
日本野鳥の会筑豊支部 役員体制（案） ..	4	全国野鳥密猟対策連絡会	24
日本野鳥の会筑豊支部規約	5	日本野鳥の会九州・沖縄ブロック協議会	24
会計	8	遠賀川流域住民の会	24
販売部	10	野鳥観察	25
普及部	11	めだかの学校・すずめ教室	25
編集部	13	河川環境保全モニター	25
調査研究部	14	福岡県環境審議会	25
保護部	17	福岡県鳥獣保護管理委員	26
写真部（休止中）	17	鳥類生息分布調査	26
植物部	18	福岡県レッドデータブック	27
情報部	19	福岡県環境保全指導員	27
俳句部	21	緑の少年団探鳥会	29
野鳥展実行委員会	21	いづつか環境会議（休止中）	29
識別検討委員会	23	本会活動履歴（参考）	30

議事次第

- 部門別活動報告と活動方針（2）
 - 事務局 (2)
 - 会計 (8)
 - 販売部 (10)
 - 普及部 (11)
 - 編集部 (13)
 - 調査研究部 (14)
 - 保護部 (17)
 - 写真部（休部）
 - 植物部 (18)
 - 情報部 (19)
 - 俳句部 (21)
 - 野鳥展実行委員会 (21)
 - 識別検討委員会 (23)
 - ご意見相談室 (23)
 - 公益財団法人日本野鳥の会 (23)
 - 全国野鳥密猟対策連絡会 (24)
 - 日本野鳥の会九州・沖縄ブロック協議会 (24)
 - 遠賀川流域住民の会 (24)
 - 野鳥観察 (25)
 - めだかの学校・すずめ教室 (25)
 - 河川環境保全モニター (25)
 - 福岡県環境審議会 (25)
 - 福岡県鳥獣保護管理委員 (26)
 - 鳥類生息分布調査 (26)
 - 福岡県レッドデータブック (27)
 - 福岡県環境保全指導員 (27)
 - 緑の少年団探鳥会 (29)
 - いづつか環境会議（休止中）
- 会計報告 (8)
- 販売部報告 (10)
- 監査報告 (9,11)
- 規約改正 (規約5)
- 役員選出 (案4)

部門別活動報告と活動方針

※各部門の掲載順は議事進行、レイアウトの都合等によるもので、重要度を示すものではありません。



事務局

事務局：2023 年度活動報告と 2024 年度方針

事務局長：広塚忠夫

先ず、当支部総会の方式について述べます。当該年度の総括期間は 2023 年 1 月～12 月とし、活動方針の提案は 2024 年 4 月～2025 年 3 月の期間としています。この方式は、毎年定期総会の開催が 2 月前後に予定されており、社会一般の方式に倣うと 1 月～3 月の活動総括と予算決算の追加・修正が発生し、再作成と承認会議の招集が伴うことを簡略化した方式とご理解願います。

2023 年を振り返ると、2022 年に続き新型コロナウイルス禍により 1 月の行事が中止になり、2 月・3 月は一般参加不可の会員のみ行事となりました。その他の中止の理由は雨天中止が一番多く、熱中症予防・台風等となっています。

4 月からは一般（非会員）の参加を歓迎し、感染症対策は継続しながらマスク着用は個人判断に委ねることしました。2023 年 5 月 8 日（月）に「5 類」に移行後もコロナ禍の行事实施の可否の判断は、森永光直部長作成の毎月のコロナ感染状況表と各役員が収集した情報を基に率直に意見交換し、2024 年現在も継続中です。

この厳しい時期の支部活動を、全役員の貢献心と多くの時間提供により実施することが出来、感謝致します。近年の役員の活動体制は高齢化（平均年齢：70.4 歳）に拘らず、長いスパンで振り返ると現役員の能力と指導力は、熟年期の黄金時代を迎えていると評価しても過言ではありません。長い経験則からは、以前は任務が特定の役員に偏ったきらいがありましたが、近年は各専門部長・副部長・行事担当が各任務を行い、筑豊支部として組織的な機能を発揮していると判断しています。それを具体的に裏打ちする活動と実績は、各専門部長の 2023 年度活動報告と 2024 年度方針を通読しご理解願います。

高齢化が進む筑豊支部の将来展望については、全国的な共通課題になっていることもあり、支部運営委員会では継続審議としています。現時点で唯一の「止まらない高齢化、どうする、どうする、野鳥の会」の有働孝士情報部長の提案を具現化するのも一案と判断しています。

2023 年コロナ禍の屋外行事・運営委員会・其他活動の状況

- 1 月：遠賀川中島元日探鳥会・志賀島探鳥会・東大橋探鳥会を新型コロナ感染防止のため中止した。更に 2023 年度総会は書面総会で行うことを決定。
- 2 月：2 月運営委員会で、2 月から 3 月までは一般参加不可とし会員のみで開催した。
- 3 月：3 月運営委員会で、4 月からは一般（非会員）の参加を歓迎し、感染症対策は継続しながらマスク着用は個人判断に委ねることした。
- 4 月：探鳥会・観察会は全て再開・実施。
- 5 月：雨天中止が続いたが、笠城ダム公園ダム探鳥会（5/14）は愛鳥週間で福岡県との共催で行った。その他探鳥会・観察会は平常に戻り実施した。また、CFB7：第 7 回筑豊フリーバードソン（5/13～5/21）は 14 名、13 チームの参加で実施した。
- 6 月：観察会：経読林道は雨天中止となり、それ以外の探鳥会・観察会 4 回実施した。
- 7 月：寒田探鳥会は雨天中止、犬鳴川探鳥会は熱中症防止で中止、その他は全て実施。
- 8 月：野鳥展（8/1～8/17）・探鳥会・観察会は実施したが、相ノ原毛谷村探鳥会は通行止め及び観察会：平尾台は台風のため中止
- 9 月：ハチクマ渡り探鳥会は、9/17 は雨天中止で 9/18 は六ヶ岳・明神ヶ辻山は実施した。なお、ハチク

マの渡り調査・六ヶ岳（9/19日～26日）は調査研究部にて実施された。

10月：全行事を実施。

11月：豊前海岸探鳥会は実施し、観察会：経読林道・相ノ原毛谷村探鳥会は通行止めで中止した。

12月：きらら浜日帰りバスツアー及び大ヶ原探鳥会は実施。第8回筑豊フリーバードソン（12/9～12/17）15名、14チーム参加で実施された。

1. 会員動静の検証と総括

(1) 2023年の筑豊支部の会員動静

①正会員：2023年入会者16名・退会者15名：1名増

（参考）2022年入会者6名・退会者14名：8名の減

2021年入会者7名・退会者16名：9名の減

2020年入会者8名・退会者18名：10名減

（内訳）

2023年12月1日現在：215名（家族会員含む）

2022年12月1日現在：214名（家族会員含む）

2021年12月1日現在：222名（家族会員含む）

2020年12月1日現在：231名（家族会員含む）

2019年12月2日現在：241名（家族会員含む）

2018年12月3日現在：241名（家族会員含む）

（注）会員数は支部ネット通信を参照

②くまたか会員（お試し会員）について

2023年の入会者総数：9名

2022年の入会者総数：7名

くまたか会員累計数：91名（2015年からの累計）

正会員へ移行者累計：25名

2023年を振り返ると、会員動静は新型コロナの5類移行に伴い、探鳥会・観察会・その他行事が従来のレベルで実施可能になり、会員減から会員増へ好転しました。各行事の継続拡大で入会機会が増えて会員増に結び付くと判断されます。

また、この間、遠賀川水辺館を拠点に毎週活動されている梶原剛二支部長、毎日当会サイト「くまたか」を更新されている有働孝士部長の活動も入会機会を提供し会員増の施策として評価されます。

一方、高齢化（会員平均年齢・約69歳）で高齢会員の退会者は15名と厳しい会員状況は続くでしょう。だが、昨年は僅かであるが1名増に好転したことは、どん底の会員動静に展望の明かりが灯せたと判断しています。

2. 運営委員会・役員会

(1) 運営委員会の総括と方針

2023年は、原則、毎月第4火曜日に運営委員会の事前打ち合わせ（Web会議）で議題や提案資料を整理し、第4木曜日に会報発行に続き定例運営委員会を行いました。

毎月の運営委員会では行事の振り返りを行い、具体的な意見要望が提案された項目を検証して対策や企画案を了解のうえ実施致しました。

3. 新役員体制について

新役員体制は、事務局及び運営委員会で調整した案を提起致します。

(1) 新体制は、前年の全役員は原則継続をお願い致しました。なお、役員立候補大歓迎の方針で立候補の働きかけは日常的に行っていますが、今年度立候補受け付け期間は2月1日から2月10日の定期総会前日までとしています。

(2) 具体案

①新販売部長：三浦博嗣

(3) 派遣・講師等について

①遠賀川流域住民の会 梶原剛二

②野鳥観察 梶原剛二

③めだかの学校・すずめ教室 梶原剛二

④河川環境保全モニター 梶原剛二

⑤福岡県環境審議会 梶原剛二

⑥福岡県鳥獣保護管理委員 筒井哲史、木村直喜

⑦福岡県鳥類生息分布調査及び
県内4支部統括 真鍋直嗣

⑧福岡県レッドデータブック・
鳥類分科会 筒井哲史

⑨福岡県環境保全指導員 下田信廣、広塚忠夫

⑩緑の少年団探鳥会 野村芳宏、柴田光、木村直喜、佐藤久恵

⑪いづか環境会議（休止中） 後藤ようこ

4.各専門部の総括と新年度方針について

各専門部の総括と方針については、各専門部部長からの本年度の提案内容を一読頂き、会員の皆様からのご意見要望を受けて最終決定と致します。

5.その他の施策について

野鳥展実行委員会・識別検討委員会・ご意見相談室及び派遣役員からの活動報告についても、各担当からの報告を通読頂き、ご意見質問を受けて決定致します。

6.団体加盟について

下記4団体に支部で加盟し、活動を支持・支援しています。

公益財団法人日本野鳥の会

全国野鳥密猟対策連絡会

日本野鳥の会九州・沖縄ブロック協議会

遠賀川流域住民の会

7.規約改正について

支部からの改正提案はありません。

日本野鳥の会筑豊支部 役員体制（案）

現体制の有働孝士部長・森永光直部長の担当重複について軽減の必要を認識して長年そのまま続いていましたが、有働孝士事務局次長・森永光直販売長から退任の申し出があり、事務局次長は調整中で、販売部長は三浦博嗣部長に了解頂き総会提案と致します。

なお、普及部の探鳥会担当に中村嘉一氏を推薦いたします。

- 支部長……………本会を代表し、諸事業を統括する。
(梶原剛二)
- 副支部長……………支部長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
(真鍋直嗣、三浦博嗣)
- 事務局長……………事務・事業を掌握し本会の運営実務を行う。
(広塚忠夫)
- 事務局次長……………事務局長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
(野村芳宏、)
- 会計部……………本会の会計実務を行う。
(河野藤孝)
- 会計監査……………本会の監査を行う。
(後藤ようこ、金本訴次)
- 普及部……………定例探鳥会及び地区探鳥会を開催し、会の普及を図る。
(森永光直、国武光成、松尾浩二、山下哲郎、中村嘉一)
- 調査研究部……………各種調査活動を実施する。
(林田達也、真鍋直嗣、木村直喜、田中憲二、小河洋綽、筒井哲史、有本英一郎)
- 販売部……………野鳥の会の物品販売を行う。
(三浦博嗣)
- 保護部……………他の自然保護団体と連携し保護活動を進める。
(筒井哲史、木村直喜)
- 編集部……………会報「野鳥だより・筑豊」の定期発行を行う。
(有働孝士、運営委員会参加者)
- 植物部……………自然観察を楽しみ、植物と野鳥を研究する。
(三浦博嗣、三浦美代子)
- 情報部……………各種活動情報、観察データの収集・保存およびその利用促進に取り組む。
(有働孝士、木村直喜、筒井哲史)
- 俳句部……………俳句で野鳥を詠む活動を行う。
(真鍋直嗣)
- その他、規約4条の事業を行うため下記の実行委員会及び委員会、相談室の担当責任者を挿入した。
野鳥展実行委員会 (野村芳宏)
識別検討委員会 (梶原剛二)
ご意見相談室 (梶原剛二)

*名誉支部長本会の事業について、役員会に助言を与える事ができる。
(松尾節朗)

*写真部、2007年から休部中

日本野鳥の会筑豊支部規約

第1章 総則

- 第1条 (名称) この会は日本野鳥の会筑豊支部 (以下、本会) と称する。
- 第2条 (事務所) 本会は、事務所を福岡県飯塚市柏の森162-3に置く。
- 第3条 (目的) 本会は、自然にあるがままの野鳥および植物に接して楽しむ機会を設け、また野鳥および植物に関する科学的な知識およびその適正な保護思想を普及すると共に自然環境を保全し、地域の人々の間に自然尊重の精神を培い、もって人間性豊かな社会の発展に資することを目的とする。
- 第4条 (事業) 本会はその目的のために次の事業を行う。
- ① 野鳥および植物を中心とした自然保護活動
 - ② 探鳥会、植物観察会の開催など普及教育活動
 - ③ 野鳥および植物等の調査研究活動

- ④ 会報の発行および公式サイト「くまたか」の管理・運営
- ⑤ 会員相互の親睦に関する諸活動
- ⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

第2章 会員

第5条（構成員）

- ① 本会の会員は、第3条の目的に賛同する公益財団法人日本野鳥の会会員及びくまたか会員（お試し会員）によって構成する。

ただし、くまたか会員においては、同居の家族に限り、随時申し込みにより会費無料でくまたか会員となることができる。

くまたか会員の会員期間は、最初の申し込みの日から月末まで及び翌月から1年間とする。

くまたか会員は、資格失効後、くまたか会員として再入会することはできない。

くまたか会員は、役員に立候補ができない。

くまたか会員は、公益財団法人日本野鳥の会会員とはならない。

- ② 入会名は、個人名・団体名・会社名のいずれも認め、会費は同額とする。

第6条（権利と義務） すべての会員は、同等の権利および義務を有する。

第7条（会費） 会費は別途これを定める。

- ① 会員は会費1年分を前納しなければならない。
- ② 会員資格を失った時、既に納めた会費は返戻しない。

第8条（除籍） 会員が以下各号に該当する時は、役員会の議決を経て退会または除名とする事ができる。

- ① 会費の滞納が3ヶ月以上に及んだ時
- ② 本会の名誉を著しく傷つけ、又は本会の目的に反する行為のある時

第3章 役員

第9条（役員） 本会には次の役員を置く。

- ① 支部長1名
- ② 副支部長2名
- ③ 事務局長1名
- ④ 事務局次長2名
- ⑤ 会計1名
- ⑥ 監査2名
- ⑦ 各専門部部長各1名及び副部長数名

第10条（役員の選任） 役員は総会において、本会会員の中から選任する。

第11条（職務）

- ① 支部長は本会を代表し、諸事業を統括する。
- ② 副支部長は支部長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
- ③ 事務局長は事務・事業を掌握し本会の運営実務を行う。
- ④ 事務局次長は事務局長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
- ⑤ 会計は本会の会計実務を行う。
- ⑥ 監査は年1回、会計の監査を行う。

第12条（専門部） 本会は次の専門部を設け、各部長が業務分担し、事務局長がこれを掌握する。

- ① 普及部：定例探鳥会及び地区探鳥会を開催し、会の普及を図る。
- ② 編集部：会報の編集と発行を行う。
- ③ 販売部：野鳥の会の物品販売を行う。

- ④ 調査研究部：各種調査活動を実施する。
- ⑤ 保護部：他の自然保護団体と連携し保護活動を進める。
- ⑥ 写真部：野鳥の写真記録を主活動とし、写真展や写真記録の蓄積を行う。
- ⑦ 植物部：自然観察を楽しみ、植物と野鳥を研究する。
- ⑧ 情報部：各種活動情報、観察データの収集・保存およびその利用促進に取り組む。
- ⑨ 俳句部：俳句で野鳥を詠む活動を行う。

第13条（役員の任期） 役員の任期は総会から翌年の総会までとし、再任を妨げない。

第14条（評議委員） 九州・沖縄ブロックの評議委員について、本会から選出の必要が生じたときに役員の中から1名選任推薦する。

第15条（顧問）

- ① 本会には必要に応じて顧問を置く事ができる。
- ② 顧問は本会の事業について、役員会に助言を与える事ができる。

第16条（名誉支部長）

- ① 長期期間に亘り本会に貢献された支部長を、名誉支部長として置く事ができる。
- ② 名誉支部長は、本会の事業について、役員会に助言を与える事ができる。

第4章 会議

第17条（総会）

- ① 総会は支部長が招集し、会員をもって構成し、毎年1回開くものとする。
- ② 集まって総会開催が困難な場合は、書面総会とする。
- ③ 臨時総会は、役員会が必要と認めた時、または5分の1以上の会員から会議の目的を示して請求があった時、開かなければならない。

第18条（総会の決議） 総会の議事は出席者の過半数で決し、可否同数の場合は議長の決すところによる。

第19条（総会の議決事項） 総会では次の事項を議決し、議事録を作成する。

- ① 規約の改正
- ② 役員および顧問の選任および解任
- ③ 事業計画、事業報告、予算、決算の審議および承認
- ④ その他本会の運営上特に必要な事項

第20条（役員会の開催） 役員会は支部長または役員の3分の1以上が必要と認めた時開催され、役員の過半数の出席をもって成立する。

第21条（役員会の議決） 役員会は、会務遂行に関する事項を議決して処理し、議事録を作成する。

第22条（運営委員会） 本会の実務運営を円滑に行うために、事務局長は運営委員会を開催する。

第5章 資産および会計

第23条（資産および運用） 本会の資産は次の通りとし、支部長が統括、会計が管理し、経費その他に運用する。

- ① 会費および寄付金
- ② 事業から生ずる収入およびその他の収入

第24条（会計年度） 会計年度は1月1日から同年12月31日までとする。

第25条（施行および改正）

- ① 規約は1986年12月15日から施行する。
- ② 1995年4月16日一部改正
- ③ 2005年4月17日一部改正

- ④ 2010年2月28日改正
- ⑤ 2011年2月27日一部改正
- ⑥ 2015年2月8日一部改正
- ⑦ 2016年2月21日一部改正
- ⑧ 2017年2月19日一部改正
- ⑨ 2020年2月16日一部改正
- ⑩ 2021年2月14日一部改正
- ⑪ 2023年3月5日一部改正

附則

第1条 規約7条に定める会費は次の通りとする。

- ① おおぞら会員（総合会員）：年会費7,500円
- ② 赤い鳥会員（支部型会員）：年会費3,500円
- ③ 家族会員：年会費500円
- ④ 個人特別会員：年会費12,500円
- ⑤ くまたか会員（お試し会員）：年会費1,000円

第2条 規約4条の事業を行うため下記の実行委員会及び委員会、相談室等を設置する。

- ① 野鳥展実行委員会
- ② 識別検討委員会
- ③ ご意見相談室



会計

2023年度決算報告及び2024年度予算案

会計 河野藤孝

★2023年度決算報告

☆2023年度一般会計収支決算書

収入の部（2023年1月～12月まで）

項目	金額（円）
会費収入	454,260
探鳥・植物参加費収入	37,500
委託調査収入	192,301
販売部収入	74,855
くまたか会員入会金	8,000
寄付金収入	0
雑収入（郵便局利息他）	5
当期収入合計（A）	766,921
前期繰越額	640,981
収入合計（B）	1,407,902

支出の部

項目	金額（円）
事務所経費（家賃）	316,320

通信費	0
事務局経費	1,740
備品費	21,098
活動費	54,470
行事費	33,709
野鳥だより・筑豊発行費	281,381
情報部	32,558
予備費	0
当期支出合計（C）	741,276
当期収支合計（A）－ （C）	50,522
次期繰越額（B）－（C）	666,626

★2023年度特別会計増減報告

項目	金額（円）
前期繰越	1,250,000
当期繰入	0

当期引出	0
当期合計	1,250,000

★2024 年度予算案

☆2024 年度一般会計収支予算書

収入の部 (2024 年 1 月～12 月まで)

項目	金額 (円)
会費収入	450,000
探鳥・植物参加費収入	40,000
委託調査収入	180,000
販売部収入	40,000
クマタカ入会金	5,000
寄付金収入	10,000
雑収入	10,000
当期収入合計 (A)	735,000
前期繰越額	666,626
収入合計 (B)	1,401,626

支出の部

項目	金額 (円)
----	--------

事務所経費 (家賃)	317,000
通信費	5,000
事務局経費	25,000
備品費	20,000
活動費	20,000
行事費	30,000
野鳥だより・筑豊発行費	300,000
情報部	20,000
予備費	10,000
当期支出合計 (C)	747,000
当期収支合計 (A) - (C)	-12,000
次期繰越額 (B) - (C)	654,625

★2024 年度特別会計増減予算案

項目	金額 (円)
前期繰越	1,250,000
当期繰入	0
当期引出	0
当期合計	1,250,000

2023 年度決算報告及び特別会計増減報告は適正に処理されていることを認めます。

2023 年 1 月 4 日 会計監査：後藤 ようこ

2023 年度予算対比実績

2024 年 1 月 4 日 会計 河野藤孝

収入の部 (2023 年 1 月～12 月まで)

項目	予算 (円)	実績 (円)	達成率 (%)
会費収入	430,000	454,260	106%
探鳥・植物参加費収入	40,000	37,500	94%
委託調査収入	140,000	192,301	137%
販売部収入	40,000	74,855	187%
寄付金収入	10,000	0	0%
体験入会収入	5,000	8,000	160%
雑収入 (郵便局利息他)	10,000	5	0%
当期収入合計 (A)	675,000	766,921	114%

支出の部 (2023 年 1 月～12 月まで)

項目	予算 (円)	実績 (円)	達成率 (%)
家賃	317,000	316,320	100%
通信費	5,000	0	0%
事務局経費	25,000	1,740	7%
備品費	20,000	21,098	105%

活動費	20,000	54,470	272%
行事費	10,000	33,709	337%
野鳥だより・筑豊発行費	300,000	281,381	94%
情報部	20,000	32,558	163%
予備費	50,000	0	0%
当期支出合計 (C)	767,000	741,276	97%
当期収支合計 (A) - (C)	-92,000	25,645	-28%

[特記事項]

昨年同様に本年度もコロナウイルス禍の大きな影響を受けた。

*筑豊支部は昨年と同じように、探鳥会・自然観察会・いろいろな会合等で新型コロナの感染防止に努めた。幸い現在まで支部会員の感染者はほとんど確認されていない。

[2023 年度収益]

予算比 114%昨年より大幅に増加した。真鍋氏の尽力による委託調査収入の大幅増、販売部収入の大幅な増加によるものです。バス旅行参加者の方々の販売部への寄付に感謝します。

[2023 年度支出]

予算比 97%とほぼ予算どおりとなった。

活動費には当初予定してなかった委託調査の費用が、行事費にはバードソンの商品代金等が加算されている。これらにより当初予算と大きな違いが生じた。

[2024 年度予算案]

予算案は前年度と大きな違いはないが、行事費を増やし内容の充実を図る。



販売部

2023 年度の販売部報告

作成日 2023.12.22

販売部部长・森永光直

1. 販売収支

(1) 販売額	181,080 円
(2) 仕入れ額	140,319 円
(3) 送料・支払い手数料等	2,260 円
(4) 寄付	36,354 円
(5) 利益総額	74,855 円

2. 販売品(主な商品)

品名	数量
(1) オークヴィレッジ テープカッター	1
(2) オリジナルおさんぽ鳥マスクングテープ	1
(3) コーワ YF II 30-8 8x30	1
(4) フェアトレードチョコレート	1
(5) 天然由来のセルロースふきん	1
(6) ワイルドバード・カレンダー2022	118
(7) バーズ・イン・シーズンズ卓上カレンダー	4
(8) しあわせことりカレンダー2022	2

2023年度 決算報告は適正に処理されている事を認めます

2024年1月4日

会計監査人 後藤ようこ（押印）

今年度は昨年よりも、販売額約4万8千円の減額と成りましたが、利益も3千円ほど減額と成りましたが、バスツアーの寄付により、総利益7万4千円と大幅に増加致しました。

カレンダーに付きましては、最初110部そして追加注文を行いました。一部対応が出来ないケースが発生致しました。次年度の検討課題です。

会員の皆様ご協力ありがとうございました。



普及部

2024年度本会定期総会用資料 総括と方針

普及部部長 森永光直

2023年度の総括

2023年度の探鳥会開催数は22回と成りました。

一部コロナの影響が出ましたが、大半は天候及び災害による通行止めでの行事中止でした。探鳥会参加会員240人、一般参加者は25人で合計265人でした。

コロナ対策として、前年通り探鳥会開始前に手指消毒・体温測定を実施し、行事中はソーシャルディスタンスを呼びかけました。

コロナ禍で4年中止していました、日帰りバスツアーを12月に実施出来ました。

ハチクマの調査では、3ヶ所実施していますが、担当者を含め調査研究部と調整する必要性があります。当面前年同様の計画を立案しています。

会員の平均年齢が高い中、新規会員の勧誘を積極的に推進して、普及部長や他役員の世代交代を図る事が重要課題と成っています。

2023年	日	曜日	例会	探鳥地	集合場所	時刻	担当者	会員	一般
1月	1月		1058	中島(中止)	垣生公園駐車場	09:00	有働孝士	コロナ中止	
	8日		1059	志賀島(中止)	志賀海神社駐車場	09:00	山下哲郎	コロナ中止	
	22日		1060	東大橋(中止) (北九州合同)	行橋浄化センター南 東の堤防前	09:00	田代省二	コロナ中止 北九州実施	
2月	5日		1061	犬鳴ダム	泉の広場駐車場	09:00	阿部哲也	16	0
	19日		1062	久保白ダム	王塚装飾古墳館駐車場	09:00	梶原剛二 松尾浩二	雨天中止	
	26日		1063	瀬板の森	瀬板の森南駐車場	09:00	森永光直	18	1
3月	5日		1064	千石峡	花の水辺公園駐車場	09:00	阿部哲也	12	0
	12日		1065	藍島 (北九州合同)	藍島港集合(小倉港 08:20 発)	09:40	林孝	18	7
	26日		1066	経読林道	彦山駅横休憩所	09:00	野村芳宏	5	0
4月	2日		1067	久末ダム	みずがめの郷第二駐 車場	09:00	阿部哲也	17	1
	9日		1068	部埼灯台	部埼灯台前駐車場	09:00	梶原剛二	15	2
	29日	土	1069	油山市民の森	油山市民の森第二駐 車場	09:30	森永光直	雨天中止	
5月	6日	土	1070	東与賀	干潟よか公園駐車場	08:30	山下哲郎	雨天中止	
	7日		1071	斫石峠	彦山駅横休憩所	07:00	有本英一郎	雨天中止	
	14日		1072	笠城ダム公園	笠城ダム公園正面	09:00	野村芳宏	11	6

	21	日	1073	ヨルビコ	豊前坊駐車場	17:00	阿部森永	8	0	
6月	4	日	1074	薬師林道	彦山駅横休憩所	09:00	野村芳宏	10	0	
	11	日	1075	遠賀川中島	垣生公園駐車場	09:00	梶原剛二	8	2	
	18	日	1076	鬼杉	彦山駅横休憩所	08:00	木村直喜	11	0	
7月	2	日	1077	寒田	平成筑豊鉄道犀川駅	09:00	森永光直	雨天中止		
	9	日	1078	犬鳴川	若宮コミュニティセンター駐車場	09:00	阿部哲也	熱中症予防中止		
	23	日	1079	松江海岸	JR 豊前松江駅	09:00	下田信廣	12	1	
8月	6	日	1080	相ノ原毛谷村	豊前坊駐車場	09:00	有本英一郎	林道通行止		
	27	日	1081	清掃探鳥会(英彦山)	彦山駅横休憩所	09:00	森永光直	6	1	
9月	2	土	1082	東与賀	干潟よか公園駐車場	09:00	山下哲郎	5	0	
	17	日	1083A	ハチクマ・剣岳	剣岳山頂	09:00	国武光成	雨天中止		
	17	日	1083B	ハチクマ・六ヶ岳	六ヶ岳展望台	09:00	有本英一郎	雨天中止		
	17	日	1083C	ハチクマ・明神ヶ辻山	明神ヶ辻山展望台	09:00	梶原剛二	雨天中止		
	18	月	1084A	ハチクマ・剣岳	剣岳山頂	09:00	国武光成	雨天中止		
	18	月	1084B	ハチクマ・六ヶ岳	六ヶ岳展望台	09:00	有本英一郎	1	0	
	18	月	1084C	ハチクマ・明神ヶ辻山	明神ヶ辻山展望台	09:00	梶原剛二	4	0	
10月	8	日	1085	ヒヨドリの渡り	蔵元橋(彦山川潜水橋)西	09:00	国武光成	5	0	
	15	日	1086	薬師林道	彦山駅横休憩所	09:00	木村直喜	6	0	
11月	5	日	1087	豊前海岸	浜の宮駐車場	09:00	下田信廣	17	0	
	12	日	1088	相ノ原毛谷村	豊前坊駐車場	09:00	森永光直	林道通行止		
12月	3	日	1089	きらら浜日帰りバスツアー	遠賀川水辺館前駐車場	07:00	普及部	12	0	
	10	日	1090	大ヶ原	ラピュタファーム駐車場	09:00	森永光直	23	4	
								合計	240	25
								総合計		

※第 1058 回～第 1060 回はコロナ中止、第 1061 回～第 1066 回は一般参加不可。

2024 年度は下記項目を柱に掲げ、活動を策定

1. コロナ禍での探鳥会実施を前年と同様に行います。一部、昼食時間を設けます（黙食必須）。
2. 支部では、海鳥探鳥が少ない為、志賀島及び東与賀は継続実施と致します。
3. 行事前の雨天での探鳥会は今年度より、中止と致します。
4. 新規行事担当者の発掘・育成等を推進致します。

2024 年度（2024/4/1～2025/3/31）例会実施表（最終案）

改定日 2023.12.11

2024 年	日	曜日	例会	探鳥地 (探):探鳥会	集合場所	時刻	担当者 (暫定)	弁当
4月	7	日	1100	久末ダム(探)	みずがめの郷第二駐車場	09:00	野村芳宏	○
	13	土	1101	部埼灯台(探)	部埼灯台前駐車場	09:00	梶原剛二	×
	28	日	1102	油山市民の森(探)	油山市民の森第二駐車場	09:30	森永光直	○
5月	6	月	1103	東与賀(探)	干潟よか公園駐車場	08:30	山下哲郎	○
	12	日	1104	笠城ダム公園(探)	笠城ダム公園正面	09:00	野村芳宏	○

	18	土	1105	ヨルヒコ	豊前坊駐車場	17:00	山下哲郎 森永光直	×
6月	16	日	1106	深倉林道(探)	彦山駅横休憩所	09:00	野村芳宏	○
7月	28	日	1107	寒田(探)	平成筑豊鉄道犀川駅駐車場	09:00	林田達也	○
8月	25	日	1108	英彦山清掃(探)	彦山駅横休憩所	09:00	木村直喜	○
9月	1	日	1109	東与賀(探)	干潟よか公園駐車場	09:00	山下哲郎	○
	15	日	1110A	ハチクマ(探)	剣岳展望台	09:00	国武光成	×
	15	日	1110B	ハチクマ(探)	六ヶ岳山頂	09:00	広塚忠夫	×
	15	日	1110C	ハチクマ(探)	明神ヶ辻山展望台	09:00	梶原剛二	×
	16	月	1111A	ハチクマ(探)	剣岳展望台	09:00	国武光成	×
	16	月	1111B	ハチクマ(探)	六ヶ岳山頂	09:00	広塚忠夫	×
10月	16	月	1111C	ハチクマ(探)	明神ヶ辻山展望台	09:00	梶原剛二	×
	6	日	1112	ヒヨドリの渡り(探)	蔵元橋(彦山川潜水橋)西	09:00	国武光成	○
	20	日	1113	薬師林道(探)	豊前坊駐車場	09:00	木村直喜	○
11月	24	日	1114	豊前海岸(探)	浜の宮駐車場	09:00	下田信廣	○
12月	15	日	1115	大ヶ原(探)	ラピュタファーム駐車場	09:00	森永光直	×
2025年 1月	1	水	1116	中島元日(探)	中島・河川敷駐車場	09:00	有働孝士	×
	11	土	1117	志賀島(探)	志賀海神社駐車場	09:00	山下哲郎	○
	26	日	1118	東大橋海岸(探) (北九州合同)	行橋浄化センター南東の 堤防前	09:00	田代省二	×
2月	2	日	1119	犬鳴ダム(探)	泉の広場駐車場	09:00	森永光直	○
	9	日	1120	久保白ダム(探)	王塚装飾古墳館駐車場	09:00	梶原剛二 松尾浩二	○
			-	(支部定期総会)	王塚装飾古墳館	13:00	梶原剛二	-
3月	2	日	1121	千石峡(探)	花の水辺公園駐車場	09:00	中村嘉一 森永光直	○
	9	日	1122	藍島(探) (北九州合同)	藍島港集合 (小倉港 08:20 発)	09:40	林孝	○
	23	日	1123	深倉林道(探)	彦山駅横休憩所	09:00	木村直喜	○

※[探鳥地][探]は探鳥会の略記、[弁当]必要○、不要×



編集部

有働孝士

2023年度総括（2023年1月～12月）

本会会報「野鳥だより・筑豊」（以下会報）は、「野鳥だより・筑豊」2023年発行事績のように12ヵ月12号分を月刊平均42ページで定期発行しました。3月号では総会資料「2023年度定期総会資料（書面総会）」を合併掲載としました（平均には含まれない）。

2023年度はコロナ禍の影響により3月まで行事中止や例会への一般参加不可設定が相次ぎました。1月号では会報発行時期に中止の周知が間に合わない事態となり、郵送では別紙同封により予定変更を周知しました。

昨年度2022年の総ページ数は461ページ、記事数は662記事でしたので、2023年度は総ページ501ページ、記事数720記事と増加しています。要因は、CFBの結果報告、「くまたか」からの記事転載によるものです。特に「くまたか」からの転載では、良記事が多く、また多少とも投稿者の偏りを防ぐ効果があり、今後とも続けていきたいと考えます。

2023年度の会報は、ご投稿のほか印刷、丁合い、製本、発送など発行作業に関わる多大なご協力

により、滞りなく月刊で発行されました。

公式ウェブサイト「くまたか」とともに、本会の活動内容や投稿など多くの情報を公開できました。ご協力の皆さまに感謝します。

「野鳥だより・筑豊」2023 年発行事績

2023 年	通巻	総頁	目次数	発行日 (PDF 版 / 印刷版)
1 月号	540 号	36	59 記事	2022 年 12 月 19 日 / 22 日
		1	1 記事	別紙「急告・1 月探鳥会、観察会の中止について」
2 月号	541 号	56	81 記事	2023 年 1 月 23 日 / 26 日 (CFB6 による記事増)
3 月号	542 号	32	50 記事	2 月 20 日 / 23 日
		(27)	(66 記事)	2023 年度定期総会資料 (書面総会)
4 月号	543 号	40	55 記事	3 月 20 日 / 23 日
5 月号	544 号	42	57 記事	4 月 24 日 / 27 日
6 月号	545 号	46	53 記事	5 月 22 日 / 25 日
7 月号	546 号	52	76 記事	6 月 19 日 / 22 日 (CFB7 による記事増)
8 月号	547 号	40	56 記事	7 月 24 日 / 27 日
9 月号	548 号	40	61 記事	8 月 21 日 / 24 日
10 月号	549 号	32	56 記事	9 月 25 日 / 28 日
11 月号	550 号	40	58 記事	10 月 23 日 / 26 日
12 月号	551 号	44	57 記事	11 月 20 日 / 23 日
総計		501	720 記事	(「2023 年度定期総会資料」を含まない)
平均		42	60 記事	

2024 年度方針 (2024 年 4 月～2025 年 3 月)

2024 年度の編集部方針は下記のとおりです。

1. 会報は会員の情報基盤との認識のもと、月刊による定期発行を継続します。
2. 会報の内容について、読者、ご意見相談室、運営委員会等のご意見を議論・吟味し、より良い誌面作りに活かします。
3. 印刷配送版より PDF・ダウンロード版の方がメディアとして次の点で優れており、移行を推進します。
 1. 発行手数削減 (発行作業が不要)
 2. 省資源 (用紙不要)
 3. 経費節減 (印刷・送料にかかる費用が不要)
 4. バリアフリー (フォントの拡大、読み上げ機能)



調査研究部

2023 年度調査研究部活動報告

調査研究部部長・林田達也

1. 秋のハチクマの渡り調査

<調査の概要>調査は 2023 年 9 月 16 日～9 月 30 日に実施しました。明神ヶ辻山で 2 日間、剣岳、六ヶ岳で 10 日間、遠賀川水辺館で 7 日間行い、渡り個体数と通過した時刻を記録しました。また、ハチクマ以外のタカについても同様に調査しました。

<結果の概要>本年はハチクマ 2,093 羽の渡りを確認しました。ほぼ同時期に、同じ日数調査した昨年
に比べ、1,000 羽程度少ない数でした。渡りのピークは昨年より 5～6 日早く、例年と同時期の 9 月
23 日で、遠賀川水辺館では 1 日当たり今季最大の 738 羽が確認されました。また、六ヶ岳では今
年も極僅かですが、アカハラダカの渡りが確認されました。

2.ガン・カモ一斉調査

<調査の概要>調査は久保白ダム（飯塚市）で 2023 年 1 月 10 日、鴨生田池（直方市）で 1 月 9
日、力丸ダム（宮若市）、油木ダム（添田町）、彦山川（福智町:金田大橋～宝見橋）で 1 月 8 日
に行い、種類と個体数を調査しました。久保白ダムは田中憲二氏、祥子氏、鴨生田池は阿部哲也氏、
力丸ダムは柴田光氏、林田達也、油木ダムは有本英一郎氏、彦山川は落合東太氏が調査しました。

<結果の概要>本年は上記の池および河川で合計 12 種 1,020 羽を確認しました。昨年より 400 羽ほ
ど少なくなりました。特に例年最も多く確認される久保白ダムでは昨年の半数しか確認できませ
んでした。鴨生田池でも数が減り、昨年確認したヨシガモは確認できませんでした。逆に彦山川では昨
年より多い 324 羽が確認され、ツクシガモが確認されました。それぞれの調査地点で確認された種
類と羽数は次のとおりです。

① 久保白ダム 4 種 560 羽

確認された種：マガモ、トモエガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ

② 鴨生田池 3 種 42 羽

確認された種：マガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ

④ 力丸ダム 2 種 48 羽

確認された種：オンドリ、マガモ

⑤ 油木ダム 5 種 46 羽

確認された種：マガモ、カルガモ、トモエガモ、コガモ、ホシハジロ

⑥ 彦山川（金田大橋～宝見橋） 7 種 324 羽

確認された種：ツクシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、カワアイサ

3.第 13 次県委託調査

専任チーフである真鍋直嗣氏が中心となって、英彦山特別鳥獣保護区、川崎鳥獣保護区、田川鳥獣
保護区で春、秋の渡り時期各々 1 回、繁殖期 2 回、冬期 2 回実施しました。（28 ページ参照）

4.中島調査

調査担当・梶原剛二

遠賀川に囲まれた中間市下大隈・中島（なかしま、約 28ha）は、鳥獣保護区化を目指し本年 3 月
までの調査途中です。これまでの調査で、渡り鳥は観察種の 58%（支部報 551-25）を占め、重要な
渡りの繁殖地、滞在地、中継地となっています。生態系高次消費者・オオタカの生息により冬期の種類
が多いことが解ります。調査の方法として、重点ポイント地点での調査の仕方等の反省点はありますが
数値も出ました。又色んな関りで成果も生まれました。多くの参加者の協力に感謝します。

波多野邦彦氏によるフォローアップ調査（「くまたか\探鳥トラバース 4」<http://yacho.org/a/824>）
により非常に重要な調査記録をご提供いただき、中島における多数の初発見記録実績となりました。

中島調査

調査	実施日	時間	種数	参加					
					3	2023-05-01		27	9
1	2023-03-06		35	6	4	2023-06-05		23	6
2	2023-04-03		33	10	5,6	2023-07-19	18:00-19:30	17	1

	雨天延期、雨天中止のため個人調査			
7	2023-08-14	09:00-11:00	20	3
8	2023-08-14	18:30-19:30	12	2
9	2023-09-04	09:00-11:00	12	2
10	2023-10-02	09:00-11:00	24	5

11	2023-11-06	09:00-11:00	20	3
12	2023-12-04	09:00-11:00	32	8
13	2024-01-01	09:00-11:00	34	14
	+カモメ sp.			

中島チェックリスト ()内亜種

- | | | | |
|---------------|---------------|-------------|---------------|
| 1. キジ | 34. ヒクイナ | 65. ハシボソガラス | 96. ジョウビタキ |
| 2. ヒシクイ | 35. オオバン | 66. ハシブトガラス | 97. ノビタキ |
| 3. ツクシガモ | 36. ホトトギス | 67. キクイタダキ | 98. イソヒヨドリ |
| 4. オシドリ | 37. タゲリ | 68. ツリスガラ | 99. エゾビタキ |
| 5. オカヨシガモ | 38. ケリ | 69. ヤマガラ | 100. コサメビタキ |
| 6. ヨシガモ | 39. コチドリ | 70. シジュウカラ | 101. キビタキ |
| 7. ヒドリガモ | 40. ヤマシギ | 71. ヒバリ | 102. スズメ |
| 8. アメリカヒドリ | 41. タシギ | 72. ツバメ | 103. キセキレイ |
| 9. マガモ | 42. クサシギ | 73. コシアカツバメ | 104. ハクセキレイ |
| 10. カルガモ | 43. イソシギ | 74. イワツバメ | 105. セグロセキレイ |
| 11. ハシビロガモ | 44. セグロカモメ | 75. ヒヨドリ | 106. ビンズイ |
| 12. オナガガモ | 45. キアシセグロカモメ | 76. ウグイス | 107. タヒバリ |
| 13. トモエガモ | 46. ミサゴ | 77. エナガ | 108. アトリ |
| 14. コガモ | 47. トビ | 78. ムジセッカ | 109. カワラヒワ |
| 15. ホシハジロ | 48. チュウビ | 79. コムシクイ | 110. マヒワ |
| 16. キンクロハジロ | 49. ハイイロチュウビ | 80. オオムシクイ | 111. ベニマシコ |
| 17. スズガモ | 50. ハイタカ | 81. メジロ | 112. シメ |
| 18. ミコアイサ | 51. オオタカ | 82. オオヨシキリ | 113. イカル |
| 19. カワアイサ | 52. ノスリ | 83. コヨシキリ | 114. ホオジロ |
| 20. カイツブリ | 53. フクロウ | 84. ヤブヨシキリ | 115. ホオアカ |
| 21. カンムリカイツブリ | 54. コミミズク | 85. セッカ | 116. コホオアカ |
| 22. キジバト | 55. カワセミ | 86. ミソサザイ | 117. カシラダカ |
| 23. アオバト | 56. アリスイ | 87. ムクドリ | 118. ミヤマホオジロ |
| 24. カワウ | 57. コゲラ | 88. コムクドリ | 119. アオジ |
| 25. サンカノゴイ | 58. チョウゲンボウ | 89. ホシムクドリ | (シベリアアオジ) |
| 26. ゴイサギ | 59. コチョウゲンボウ | 90. クロツグミ | (アオジ) |
| 27. アマサギ | 60. ハヤブサ | 91. マミチャジナイ | 120. クロジ |
| 28. アオサギ | 61. サンショウクイ | 92. シロハラ | 121. シベリアジュリン |
| 29. ダイサギ | (リュウキュウサン | 93. アカハラ | 122. オオジュリン |
| 30. チュウサギ | ショウクイ) | 94. ツグミ | 123. コジュケイ |
| 31. コサギ | 62. モズ | (ツグミ) | 124. カワラバト |
| 32. ヘラサギ | 63. カササギ | (ハチジョウツグミ) | 125. ガビチョウ |
| 33. クイナ | 64. ミヤマガラス | 95. ノゴマ | 126. ソウシチョウ |

2024 年度活動計画

1. 秋のハチクマの渡り調査

2024 年 9 月に明神ヶ辻山、剣岳、六ヶ岳、遠賀川水辺館等でハチクマを中心にその他タカ類の渡り調査を行います。

2. ガン・カモ一斉調査

2025 年 1 月初旬～中旬に久保白ダム（飯塚市）、鴨生田池（直方市）、力丸ダム（宮若市）、油木ダム（田川郡添田町）、彦山川（福智町）で調査を行います。

3. 第 13 次福岡県委託調査

引き続き専任チーフ真鍋直嗣氏を中心に、会員の協力を得ながら取り組んでいきます。調査地は求菩提山鳥獣保護区、上野鳥獣保護区、柏の森鳥獣保護区です。



保護部

2024年保護部総会資料

保護部 筒井哲史、木村直喜

2023年度活動報告

保護部は、筑豊地区内の野鳥の見回りを鳥獣保護管理員の巡視とともに実施しています。2023年では違反となるような行為は見つかることはありませんでした。

福岡県のシカ指定管理捕獲事業が耶馬日田英彦山国定公園内の鳥獣保護区でワナが設置されシカの捕獲が実施されていることから県と設置業者に連絡をとり登山者や観光客に危険がないか見回りました。

福岡県レッドデータブックの改訂作業が終了し、2024年に発刊予定となっています。

- 1.野鳥の密猟の見回りを実施しました。
- 2.野鳥の繁殖に影響を与える行為が行われていないか見回りを実施しました。
- 3.違法野鳥の飼養が行われていないか鳥獣店やペットショップの見回りを実施しました。
- 4.県のシカ指定管理捕獲事業で鳥獣保護区内に仕掛けてあるシカのワナが適切に設置されているか確認しました。
- 5.福岡県レッドデータブック2024の改訂作業に鳥類分科会委員として参加しました。

2024年活動方針案

2024年の活動方針について、2023年と同様の活動を行っていききたいと思います。

野鳥の密猟防止、野鳥の繁殖に影響を与えるような写真の撮影や撮影に伴う環境の改変などの行為がないように注意していききたいと思います。

また、メジロの飼養許可違反、その他の鳥類の飼養がないように見回ります。

県のシカ指定管理捕獲のワナが適切に設置されているか見回ります。

福岡県レッドデータブックの改訂作業が終了して、もうすぐ発刊予定です。

- 1.野鳥の密猟防止のため見回りを実施します。
- 2.野鳥の繁殖に影響を与える行為をやめるように注意を行います。
- 3.メジロの愛玩飼養目的の捕獲が原則禁止となりました。この規則について広く啓蒙されるように普及に努めます。
- 4.違法野鳥の飼養が行われていないか鳥獣店やペットショップの見回りを行います。
- 5.福岡県が耶馬日田英彦山国定公園内でシカ指定管理捕獲を実施しています。鳥獣保護区内でもワナを仕掛けてシカを捕獲していることからワナが適切に設置されているかどうかを確認します。
- 6.福岡県レッドデータブック2024の改訂作業が終了し発刊予定です。



写真部（休止中）

（休部中のため記載事項はありません）



植物部

2024 年度自然観察会

植物部 作成

月	日	曜日	回	観察場所	集合場所 例会観察テーマ	集合	担当 副担当	弁 当	前年度 参加数	
4	11	木	167	香春岳	香春町役場駐車場	09:00	広塚忠夫 三浦博嗣	○	9名	
	例会観察テーマ：チョウジガマズミ・フデリンドウ他									
	18	木	168	平尾台	平尾台自然観察センタ 一駐車場	09:00	三浦美代子 三浦博嗣	○	13名	
例会観察テーマ：オキナグサ・ホタルカズラ他										
5	26	金	169	健康の森 公園	健康の森公園駐車場	09:00	広塚忠夫 三浦博嗣	○	11名	
	例会観察テーマ：春の花各種・新芽の樹木他									
5	16	木	170	平尾台	平尾台自然観察センタ 一駐車場	08:00	三浦博嗣 三浦美代子	○	7名	
	例会観察テーマ：キンラン・シュンラン他									
5	30	木	171	経読林道	彦山駅横休憩所	08:30	三浦博嗣 広塚忠夫	○	雨天中 止	
	例会観察テーマ：オオバアサガラ他									
6	13	木	172	平尾台	平尾台自然観察センタ 一駐車場	07:30	三浦博嗣 三浦美代子	○	8名	
	例会観察テーマ：ノハナショウブ・スズサイコ他									
7	4	木	173	千石峡	花の水辺公園駐車場	07:30	広塚忠夫 三浦博嗣	×	11名	
	例会観察テーマ：新緑の樹木各種、タシロラン									
	11	木	174	平尾台	平尾台自然観察センタ 一駐車場	07:30	三浦博嗣 三浦美代子	○	8名	
例会観察テーマ：ヒオウギ・アキノタムラソウ他										
8	8	木	175	平尾台	平尾台自然観察センタ 一駐車場	07:30	三浦博嗣 三浦美代子	○	台風中 止	
	例会観察テーマ：ハギ各種・オトギリソウ									
	23	金	176	長寿の里 公園	平成筑豊鉄道犀川駅駐 車場	08:00	古城英彦 広塚忠夫	×	4名	
例会観察テーマ：ベニトンボ他										
9	5	木	177	平尾台	平尾台自然観察センタ 一駐車場	07:30	三浦美代子 三浦博嗣	○	10名	
	例会観察テーマ：ハギ各種、野菊各種									
10	17	木	178	平尾台	平尾台自然観察センタ 一駐車場	08:00	三浦博嗣 三浦美代子	○	14名	
	例会観察テーマ：ウメバチソウ・リンドウ・センブリ									
	31	木	179	経読林道	彦山駅横休憩所	08:00	真鍋直嗣 三浦博嗣	○	雨天中 止	
例会観察テーマ：メグスリノキ、カエデ科各種										

※項目「弁当」(昼食)の必要は○、不要は×

※自然観察会は季節の植物を観察し、楽しみながら「自然と触れ合おう」と「健康のため歩きましょう」

2024 年度の主旨

- 2023 年度は天候不順（雨天や台風）で数度中止（6 月と 11 月の経読林道、8 月の平尾台）となり、実施された観察会も参加者が少なかった。
- 4 月実施の「健康の森観察会」と 8 月の「長寿の里公園観察会」は樹木や昆虫を主眼としたもので今後も継続して行いたい。

健康の森観察会については、昨年までの担当の後藤さんに担当していただきたいが、諸事情で確

定できないので担当を広塚氏にお願いしています。

3. 毎年のことではありますが、特に「平尾台」においてはベストな開花時期に合わせ計画しますが、温暖化やその年の気候変動でズレを生ずることがありコロナ禍で中止になったが、唯一の「昆虫」主体の観察会も両方とも継続して実施する。また、観察会の間隔が大きい時は、旬の花々をタイムリーなチャンスを逃す為、今年もミニ観察会（個人主催）を実施する。

※個人主催は5月初旬・末、6月初旬・末、7月末、9月中旬・末の7回計画。



情報部

有働孝士

2023 年度総括（2023 年 1 月～12 月）

情報部は本会公式ホームページ（以下ウェブサイト）「くまたか」<http://yacho.org/>の維持管理を主な活動内容にしています。

2023 年度の「くまたか」は、特にアクシデントもなく、順調に推移しました。

コロナ禍による急な行事予定変更では柔軟に対応し、ウェブサイトの利便性が発揮されました。

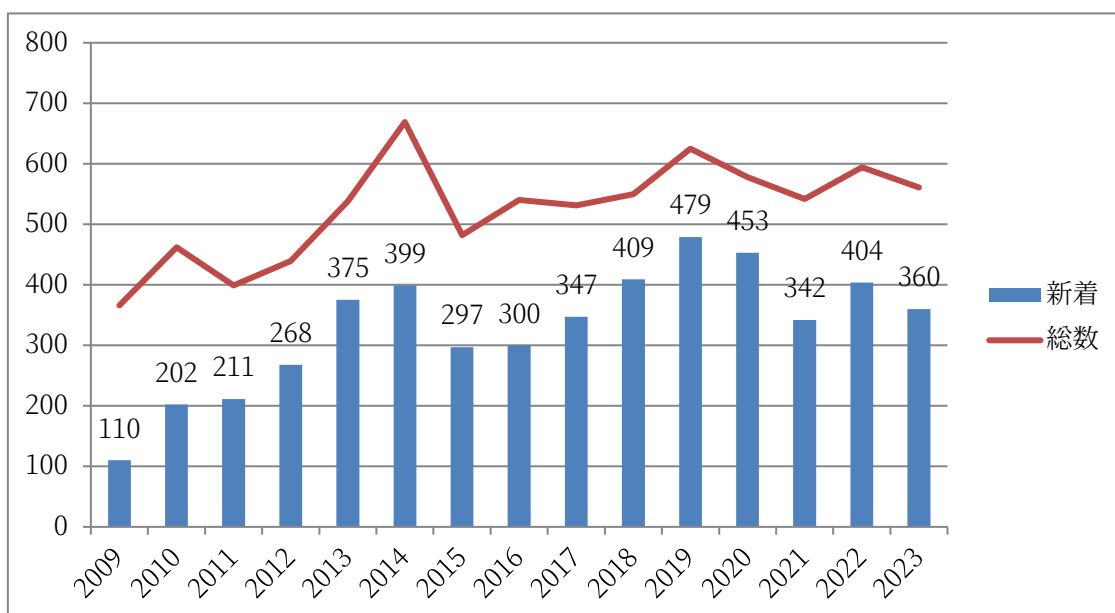
「くまたか／What's New／新着」件数の推移

「くまたか」では、ページの新設やアップロード等変更があるたび *What's New*（ワッツニュー）<http://yacho.org/#whats> というコラムにタイトル・執筆者名およびそのリンクを記し、ユーザーにお知らせしています。「くまたか」はこのコラムを見ていればおおむね変化や動向をつかむことができます。

会員による新しいご投稿の件数は、「くまたか」の活性度を示す指標とみることができ、「新着」タグをつけて公開しています。下図の青い縦棒は、この新着の件数をグラフにしたものです。

2013 年頃からユーザーに「くまたか」の有用性と使い方が理解され、投稿数が一定のレベルに維持されています。2015 年以降原因不明の落ち込みは見られますが、2018 年回復を果たし、以降おおむね 400 台を記録しています。2021 年の落ち込みはコロナ禍の影響と見られます。

新着について、一定の周知が得られたと思われる 2013 年以降 2023 年までの平均を取ると 379 件となりました。2023 年度は 360 件となり前年に比べても若干の落ち込みとなっています。



※棒グラフ先端の数字は、年度ごとの更新タグ投稿実数。Microsoft Excel2007 より折れ線グラフは、*What's New* の掲載総件数の推移を示しています。

サーバーの現況 (2024-01-06)

「くまたか」<http://yacho.org/>は、インターネット接続およびアップロード・データを収容するため Xserver (エックスサーバー)、ドメイン (yacho.org) 管理は VALUE DOMAIN (ヴァリュー・ドメイン) の二社をそれぞれ利用しています。

Xserver (<https://www.xserver.ne.jp/>)
レンタルサーバー契約期限：2024-08-31 (1年
自動更新、クレジット払い)
利用プラン：スタンダード (最大 300GB)
ディスク使用量・空き容量：158GB/175GB
(全容量)
総ファイル数：314522
契約料金：13,200 円/年

ドメイン名：yacho.org
契約期限：2024-06-09
契約料金：2,423 円/年
※ドメインは、世界のインターネットにおける氏名に相当する文字列で、「くまたか」のドメイン名は、yacho.org です。短いですが世界中で yacho.org といえば唯一「くまたか」を指しており、他にはありません。ドメイン管理は有料です。

VALUE DOMAIN (<https://www.value-domain.com/>)

専門部にメールアドレス発行

役員・各専門部部長のメールアドレスについては、個人用の実アドレスを会報や「くまたか」に公開するのはセキュリティ上好ましくありません。そこで「くまたか」のメールサーバーを利用して、別名でメールアドレスを発行し実アドレスを隠蔽します。メールアドレス新規発行の権限は情報部に一任されていますので、今後も必要に応じ発行していきます。役員で必要とされる方は、情報部 info@yacho.org までお申し出ください。

※「くまたか」のメールサーバーに関連付けられる個人アドレスは、着信専用ですので実アドレスに何らかの影響を与えることはなく、またユーザーが何かする必要はありません。

以下のアドレスはすでに発行済のものです。

事務局長 (広塚忠夫) jimukyoku@yacho.org	販売部 (森永光直) hanbai@yacho.org
普及部 (森永光直) fukyu@yacho.org	俳句部 (真鍋直嗣) haiku@yacho.org
植物部 (三浦博嗣) hana@yacho.org	調査研究部 (林田達也) chosa@yacho.org
	情報部 (有働孝士) info@yacho.org

チェックリスト作成委員会発足

情報部では、2023年7月7日福岡県のチェックリスト*作成を目指すワークグループ、チェックリスト作成委員会を発足させました。下記条件のリストの性格上、主に「くまたか」を拠点として、観察記録*を収集することとしています。

成果は、「くまたか\資料館\各種リスト\チェックリスト\」<http://yacho.org/a/823> に収録しており、誰でも閲覧可能です。現在のメンバーは、広塚忠夫、松富士将和、富永誠、有働孝士ですが、本支部会員であればどなたでも参加を歓迎します。

1. 当面、現在を含め過去5年間の観察記録を収集すること
2. 「くまたか」に保存し公表すること (公表可能な観察記録であること)
3. 観察記録は、すべて証拠のある記録とすること
4. 対象は、福岡県内に自然分布する野鳥とすること

*チェックリストとは、一定の地域内で観察される野鳥の総リスト。ここで「地域」とは福岡県。

*観察記録とは、①観察種名、②観察年月日、③観察場所 (福岡県内の市区町村名。極力3次メッシュコードで場所同定し併記)、④観察者名、その⑤証拠 (識別可能な写真、動画、録音) のすべてがそろった公表可能な記録のこととする。

2024年度方針（2024年4月～2025年3月）

2024年度も本会のデジタル・リソースを活用し、会員相互のコミュニケーションや記録の保存、共有、利用、広報、啓発等に役立てたいと考えます。

社会の情報環境は、これまでのインターネット時代から一段うえの生成 AI の時代にステップアップしています。情報を扱う私たち野鳥の会にとってもその影響は大きく、識別のアシスタントとして、野外における活動とその後の情報処理など広範なサポート環境が目前です。

会員の高齢化による活動の鈍化が心配されていますが、体は動かなくても野鳥観察が可能な環境は生成 AI や既存の情報ネットワークの充実により、さらに領域を広げてゆくものと思います（財団本部ではすでにウェビナーやオンライン探鳥会で実践中）。本会の活動がこうした劇変についていけるかどうか、もっばら役員の見識と力量にかかってくるでしょう。せめて役員だけでも、情報技術のリテラシーや可能性を学ぶ機会が必要となっています。



俳句部

俳句部令和5年（2023）年報告

俳句部 真鍋直次

昨年の総会（書面総会）に俳句部創設を願い出て、正式な専門部の一員に加わりました。

俳句部は俳句を通して野鳥を含む自然を楽しもうという趣旨の活動を継続していきます。多くの方に俳句を詠んで（作って）もらい、鑑賞して（読んで）いただき、野鳥の会の活動の裾野を少しでも広げてゆきたいと思います。よろしく願いいたします。

この1年間の投稿句の総数は451句です。投稿者の数は延べ79名ですが、投稿者はほぼ固定しております。新規の投稿者を求めてきましたが、「俳句部の創設おめでとう」と言うメッセージを寄せていただいた支部長に無理（1句でもいいですから…）を言って6月から加わっていただき現在7名の投稿者がいます。また、定期的な投稿だけを求めるものではありません。探鳥会や自然観察会又個人で行かれた旅行等で、ふと浮かんだ感動、感想を言葉にし、17音でお寄せ下さい。



野鳥展実行委員会

野鳥展実行委員会 2023年の取り組みと2024年の活動計画案

野鳥展実行委員長 野村芳宏 2024.2.11（日）

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 2023年の取り組み | ①期日 2023年8月1日（火）～8月17日（木） |
| （1）会の発足と経年 | ②場所 イイヅカコミュニティセンター1階エントランスホール（飯塚市飯塚14-67 TEL0948-22-3274） |
| ・発足 2014年2月に野鳥の会筑豊支部の総会で承認 | ③主催 日本野鳥の会筑豊支部、後援 飯塚市 |
| ・2023年で経年9年 | ④テーマ「筑豊の野鳥たち」 |
| （2）実行委員（3名） | ⑤展示内容 写真30点、俳句20句 |
| 飯塚地区 野村芳宏（実行委員長） | ⑦記帳者数 129名（推定入場者数約340名） |
| 田川地区 木村直喜 | ⑧広報 飯塚市市報、新聞社（読売） |
| 京築地区 田代省二 | |
| 直鞍地区 阿部哲也（中途退会） | |
| （3）野鳥展 | |

⑧会場費 20,270円（展示用パネル、電気使用料を含む）

⑨関連イベント

・筑豊支部のホームページ「くまたか」に仮想写真展を実施（野鳥展の展示作品を掲載）

・野鳥展探鳥会

2023年8月5日（土）08:30～10:00

担当：野村芳宏、遠賀川河川敷、立岩駐車場、参加者4名

（4）外部団体への協力

・8月19日（土）開催されたサイエンスモールに、野鳥プラバン作り 写真12点、動画をそれぞれ出展。イイツカコミュニティセンター

・8月26日（土）夏休みミニミニスクール

講師 野村芳宏「身近な野鳥を覚えよう」（飯塚市・あいタウン・市民交流プラザ）

・2024年2月10日（土）「エコスタいいづか」（飯塚市）出展予定

2. 2024年の活動方針

（1）野鳥展実行委員（直鞍地区欠員、補充を検討中）

※現在4地区から各1名、合計4名を選出しているが、2025年からは4地区の枠組みの撤廃。

（2）野鳥展

①開催地区 田川地区

②会場 福智町図書館・歴史資料館「ふくちのち」（予定）

③期日 8月から1週間程度（予定）

④写真展のテーマ 「筑豊の野鳥たち」

⑤展示内容 写真30点前後、俳句数点

⑥展示品の応募 6月中旬

⑦会場費 有料（金額は1日1,100円）

⑧関連イベント

・筑豊支部のホームページ「くまたか」に仮想写真展を実施（野鳥展の展示作品を掲載）

⑨主催 日本野鳥の会筑豊支部

（3）外部団体への協力

・サイエンスモール出品予定（8月）

・エコスタいいづか出品予定（2025年2月）

・緑の少年団「八木山小学校バードウォッチング」夏と冬年に2回実施（27ページ参照）

・夏休みミニミニスクール 講座予定（飯塚市市民交流プラザ8月）

野鳥展実行委員会規約

1. 目的

毎年各地域で開催する野鳥展を成功させることを目的とする。

2. 組織

実行委員4名で構成する。そのうち1名を実行委員長とする。

3. 選出

直鞍・飯塚・田川・京築の各地域から実行委員を1名選出し、互選で実行委員長を決める。

4. 任期

実行委員及び実行委員長は2年とする。再任は妨げない。

5. 役割

実行委員長は、野鳥展の企画、実施の役割を担う。実行委員は、実行委員長の補佐を担う。

6. 開催期間

原則として年に1回、8月に行う。

7. 開催地域

2014年 飯塚地区

2015年 田川地区

2016年 京築地区

2017年 直鞍地区

2018年以降は、この順番で行う。

8. 発足

2014年1月の総会で承認を得て、発足する。

9. 改正及び破棄

上記の規約を改正及び破棄する場合は、野鳥の会の総会の承認を得る。



識別検討委員会

窓口担当・有働孝士

識別検討委員会は、本会有識者で構成された識別に関する問い合わせに答えるための委員会です。通常の識別の問い合わせはメールで受付け、最初に「くまたか」担当で検討し回答が困難な場合は、ご意見相談室に回され、ここでも判明しないときは、識別検討委員会にあげられ、最終判断が示されます。

1. 新しく検討委員として、岡部海都氏をお迎えしました（2023-11-02）。
検討委員は、岡田徹（筑豊支部退会）、梶原剛二、木村直喜、柴田光、渋谷朗、筒井哲史、波多野邦彦、三宅敏靖、広塚忠夫、有働孝士の各氏に岡部海都氏を加え、11名となりました。
2. 本年度の検討課題は一件です。「011: マダラチュウヒ♀? の鑑定依頼」（2016-05-30）への回答が2意見併記になっていたのを岡部海都氏による再検討により「マダラチュウヒの雌第2回夏羽」との見解を示され、また反対意見もなく、本見解を結論とします（2024-01-19）。



ご意見相談室

室長・梶原剛二

ご意見相談室（規約\附則第2条③）は、諮問会議として発足し、通常メーリングリスト（メンバー固定の相互同報送信メールにより意見交換）を利用し、運営委員会が開催された場合は、終了後、対面の会議により大きな問題を取り扱うものです。現在、諮問会議のほかに、「くまたか」関連の問題、識別相談、会報「野鳥だより・筑豊」、一般の方からの質問、原稿訂正等も取り扱うよう拡張されました。今年度も案件に対応して、適任者が回答しています。

ご意見相談室

現メンバーは次の7名です。梶原剛二（支部長）、真鍋直嗣（副支部長）、三浦博嗣（副支部長）、広塚忠夫（事務局長）、野村芳宏（事務局次長）、森永光直（普及部部长）、有働孝士（情報部部长）。メンバーは支部長の指名により会員から参加していただきます。



公益財団法人日本野鳥の会（団体加盟）

広塚忠夫

1986年12月15日、財団法人日本野鳥の会理事会より（財）日本野鳥の会 筑豊支部として団体加盟を承認（会報106-18）され、1987年2月22日筑豊支部設立総会（会報109-3）により、筑豊支部となりました。ただし、後に筑豊支部は財団法人ではないことが確認され、「日本野鳥の会筑豊支部」と改称されました。

（公財）日本野鳥の会は、連携団体による全国総会を毎年開催しており、本会も積極的に参加しています。総会報告は毎回「くまたか」および会報に掲載しています。

筑豊支部は、2024年度も団体加盟を継続することとします。



全国野鳥密猟対策連絡会（団体加盟）

広塚忠夫

- ・全国野鳥密猟対策連絡会
- ・公益財団日本野鳥の会は「野の鳥は野に」を創立以来の理念として掲げ、野鳥の密猟、違法な飼養・販売の根絶、野鳥輸入の禁止のための活動を行っており、1969年日本野鳥の会「カスミ網対策運動本部」設置
- ・1992年全国野鳥密猟対策連絡会」発足（上記からスピナウト）
- ・2007年輸入鳥にも足輪の装着が義務付けされ、愛玩飼養はメジロ1世帯1羽に制限される。
- ・福岡県は、2011年度まで愛玩飼養を目的とした野鳥の捕獲をメジロのみ1世帯1羽に限り許可していましたが、密猟や乱獲を助長するおそれがあることなどから、2012年（H24年）からメジロの愛玩目的の捕獲は許可していません。
- ・日本野鳥の会筑豊支部は、全国野鳥密猟対策連絡会に団体加盟し、以下の密猟対策や違法飼養摘発等の実績がある。①英彦山のオオルリ密猟を発見し対応、②田川市内でメジロの大量の違法飼養の通報があり、警察・県・鳥獣保護管理委員と共に摘発、③大法山（旧山田市）でオオルリ密猟を現認し警察に通報、④小鳥販売店の実態調査を実施
- ・筑豊支部は、2024年度も団体加盟を継続することとします。



日本野鳥の会九州・沖縄ブロック協議会

（団体加盟）

- ・規約（2012-02-04）より抜粋
構成 本会は九州・沖縄地区の日本野鳥の会支部、地域連携団体（以下、支部・団体等という。）ならびに、支部化・地域連携団体化を目指す地域組織（以下「指向組織」という。）をもって構成する。
本会は各支部・団体等の交流親睦を図り、情報交換・技術研修等を行うことを主な目的とする。
- ・筑豊支部は、2024年度も団体加盟を継続することとします。



遠賀川流域住民の会（団体加盟）

遠賀川流域住民の会、世話人及び情報収集委員報告

梶原剛二

- ・飯塚市防災センター、2023年、隔月で14時から
3月4日(土) 令和4年度活動報告、5年度活動計画(案)情報交換
4月15日(土) 5年度活動計画、防災学習会(原田福理事長)
5月20日(土) NPO法人遠賀川流域住民の会、通常総会
8月19日(土) 事業報告、芦屋海岸クリーン、ふくおか水もり自慢等、情報交換
10月7日(土) 3回世話人会、芦屋海岸クリーン
12月16日(土) 実施事業の報告と反省等
- ・筑豊支部は、2024年度も団体加盟を継続することとします。



野鳥観察 (旧・遠賀川 OK バードウォッチング)

講師・梶原剛二

「遠賀川 OK バードウォッチング」は、名称を「野鳥観察」に変更しました。

遠賀川水辺館 毎週金曜日 10 時～16 時

埼玉県から月 1 回バードウォッチング参加される方が 2 名おられます。平均週 2 名

2024 年度も継続します。

7 月 19、20、21 日	鞍手竜徳高校インターンシ ップ	1 名	11 月	九大生	4 名
			11 月	福岡 ECO 動物海洋専門学 校	4 名
7 月 29 日	遠賀町役場募集	30 名	11 月 22 日	ウイング飯塚	6 名
9 月 20 日～27 日	ハチクマの渡り	70 名	11 月 30 日	浄福寺幼稚園	22 名+2
9 月 29 日	糸田小学校 2 年生	62 名+5	12 月 6 日	九大生	5 名



めだかの学校・すずめ教室

講師・梶原剛二

遠賀川水辺館 毎月第 4 土曜日 10 時～12 時

毎回参加者（小、中、高校生、筑豊支部会員）です。バードウォッチング、野鳥の絵を描くなどが基本的活動です。

4 月 22 日 11 名	7 月 22 日 3 名	10 月 23 日 3 名
5 月 27 日 7 名	8 月 26 日 6 名	11 月中止
6 月 24 日 5 名	9 月 23 日 6 名	12 月 23 日 2 名

12 月 17 日、リバーチャレンジスクール 128 回「冬の野鳥を見つけよう」、ときわ公園、きらら浜、小学生、中学生、高校生、大学生、サポーター他 37 名

2024 年度も継続します。



河川環境保全モニター

梶原剛二

～遠賀川河川事務所の職員に伝えたいこと～

2023 年度は 2024 年 1 月 23 日(火)に「遠賀川と九州の野鳥」遠賀川水辺館で講演会予定。



福岡県環境審議会

福岡県環境審議会委員・梶原剛二

福岡県環境審議会 2023 年度

令和 5 年 8 月 7 日(月)

13:00～15:00 英彦山、五ヶ山鳥獣保護区特別保護地区の指定

15:30～17:30 公園鳥獣部会、中島、鳥獣保護区指定働きかけ



福岡県鳥獣保護管理委員

筒井哲史

2023 年度活動報告

鳥獣保護管理員は、鳥獣保護区や猟区の巡視を毎月2回（狩猟期11月から2月は6回）行い、毎月報告書を作成、福岡県自然環境課に提出しています。また、1月にはガンカモ調査も実施しています。

2023年では違反となるような行為は見つかることはありませんでした。

本年は英彦山鳥獣保護区特別保護地区の改訂年でした。そのため英彦山鳥獣保護区、英彦山鳥獣保護区特別保護地区の区域を知らせる看板を探す作業を行いました。

福岡県のシカ指定管理捕獲事業が耶馬日田英彦山国定公園内の鳥獣保護区でワナが設置されシカの捕獲が実施されていることから県と設置業者に連絡をとり登山者や観光客に危険がないか見回りました。

- 1.野鳥の密猟の見回りを実施しました。
- 2.野鳥の繁殖に影響を与える行為が行われていないか見回りを実施しました。
- 3.違法野鳥の飼養が行われていないか鳥獣店やペットショップの見回りを実施しました。
- 4.県のシカ指定管理捕獲事業で鳥獣保護区内に仕掛けてあるシカのワナが適切に設置されているか確認しました。
- 5.英彦山鳥獣保護区、英彦山鳥獣保護区特別保護地区の看板を探す作業をしました。

2024 年活動方針案

2024年の活動方針について、野鳥の密猟防止、野鳥の繁殖に影響を与えるような写真の撮影や撮影に伴う環境の改変などの行為がないように注意していきたいと思います。また、メジロの飼養許可違反、その他の鳥類の飼養がないように見回ります。県のシカ指定管理捕獲のワナが適切に設置されているか見回ります。

- 1.野鳥の密猟防止のため見回りを実施します。
- 2.野鳥の繁殖に影響を与える行為をやめるように注意を行います。
- 3.メジロの愛玩飼養目的の捕獲が原則禁止となりました。この規則について広く啓蒙されるように普及に努めます。
- 4.違法野鳥の飼養が行われていないか鳥獣店やペットショップの見回りを行います。
- 5.福岡県が耶馬日田英彦山国定公園内でシカ指定管理捕獲を実施しています。鳥獣保護区内でもワナを仕掛けてシカを捕獲していることからワナが適切に設置されているかどうかを確認します。



鳥類生息分布調査

調査研究部（県委託調査担当） 真鍋直嗣
県委託調査令和5年（2023）年報告

県委託調査（第13次県指定鳥獣保護区における鳥類生息状況調査）は2期目に入り、一部特別保護地区を含めた英彦山鳥獣保護区（以下英彦山保護区）の2年目調査、川崎町の大ヶ原地区にある川崎鳥獣保護区（以下川崎保護区）、田川市の田川鳥獣保護区（以下田川保護区）の生息

状況の調査を実施した。この調査は繁殖期に2回、冬期に2回、渡り期は春と秋に各1回と年に計6回の現地調査を行う。各調査地では4箇所の調査スポットを設置し各箇所に20分留まり、出現した種と数、調査地の環境を記録していくという調査である。

英彦山保護区は2年に渡り調査するもので、今年度は2回目の調査。現在英彦山の中岳頂上は英彦山神宮上宮の改修工事で立ち入りが禁じられており、調査地を12次とは違う地域（鬼杉～猫の丸尾）で調査を行った。調査（冬期調査を除く）に参加した人員は延べ13名、山岳地帯の調査であり、登山経験豊かな方々に広塚事務局長を中心に行っていただいた。

川崎保護区は毎年例会が開催される川崎町大ヶ原地区に設置、指定されている。過去にごみ処理場の設置が検討されたこともあり、地元の人の声を受け設置されたと聞いている。調査（冬期調査を除く）に参加した人員は延べ12名。冬期1回目の調査では出現種26種と猛禽類やベニマシコなどが出現した。大ヶ原地区は大変貴重で、重要な里山の一つであることに間違いはない。

田川保護区は田川市伊田と田川市伊加利の2つの地域に広がる1,048haの広さの保護区で、住宅・団地、田園・丘陵地、工業団地等様々な環境を含んでおり、調査スポットはそれを加味して設置をした。調査（冬期調査を除く）に参加した人員は延べ7名であった。調査中ではないが、調査スポット③にてコノハズクが鳴いていたとの情報が入ってきた。私も録音しており、文献調査部門でこの貴重な記録を報告したい。

さて、今年度令和6年（2024）年の調査対象鳥獣保護区（以下保護区）は、求菩提山保護区（豊前市、築上町）、上野保護区（福智町）、柏の森保護区（飯塚市）の3箇所です。既に求菩提山保護区はその調査スポットを設置する場所を探るための事前調査も行っています。

是非、今年度の調査には多くの方々に参加いただければと思っています。よろしくお願いたします。



福岡県レッドデータブック

委員・筒井哲史

2023年度活動報告

レッドデータブックの作業状況について、鳥類分科会会議が2月、8月、11月にオンライン形式で行われました（11月の分科会は筒井出張のため欠席）。本年の分科会では、カテゴリーの再評価、掲載種の選定、掲載種の決定、原稿執筆の分担についての話し合いがありました。

2024年活動方針

2024年の活動方針について、2024年2月に分科会会議が行われる予定です。レッドデータブックの改訂作業、原稿執筆が終了してもうすぐ発刊予定です。委員としての仕事は終了となります。



福岡県環境保全指導員

福岡県環境保全指導員の活動報告

報告：広塚忠夫

当会筑豊支部から福岡県環境保全指導員に下田信廣、広塚忠夫の2名を承認し派遣していますので、2023年の業務報告を致します。

1. 環境保全指導員の業務

- (1) 高山性植物、岩石等を採取し、木竹をき損し、または保護鳥獣を殺傷若しくは捕獲する等、自然保護の精神に反する行為を行わないよう指導すること。
- (2) 案内板、指導票、山小屋等公共施設をき損しないよう指導すること。
- (3) 環境の維持と美化に留意し、特に紙くず、空きかん、空きびん、汚物等の処理を適切に行うよう指導すること。
- (4) 野外における火の使用及び喫煙等に関し、火災予防上適正な措置をとるよう指導すること。
- (5) 登山等の利用につき、それぞれ適切な指導、助言を行うこと。
- (6) 自然公園及び自然環境保全地域において、指導に従わず、違法行為を止めない場合には、県自然環境課に連絡すること。
- (7) 工場、事務所等からの排水、ばい煙の排出、廃棄物等の投棄等について異常を認めたときは、すみやかに公害担当機関に連絡すること。

2, 2023年の業務報告

(注) 業務報告は2024-01-10現在で作成しているため、2024年1月から3月は業務実施後に追加記載して県報告とする。

環境保全指導員業務報告書

福岡県知事 殿

住所 田川市奈良 207-3
氏名 広塚忠夫

業務に当たった年月日	業務に当たった公園名及び地区	指導事項又は通知事項	備考
2023/4/11	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園） 豊前坊から中・北岳中間地点	中岳上宮の復修工事の為、中岳・北岳中間地点からピストン又は裏彦へ下ることが強いられるので、上宮改修工事休業日は中岳開放の「上宮通過施策」を実施した方が登山者の安全が確保される。 珍鳥セグロカッコウの飛翔と鳴き声を確認した。 林道・森林に特段問題はなし。	
2023/5/11	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園） 鬼杉から猫の丸尾	夏鳥のツツドリ・アカショウビン・キビタキ・オオルリ等がご帰還していた。 深倉林道に特段の問題ヶ所はなかった。	
2023/6/4	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園） 深倉林道	本日は深倉林道に向ったが、今回の九州北部豪雨で深倉林道全面通行止めのため豊前坊に方向転換した。豊前坊・高住神社も豪雨で石段が川になるほどであったとの情報をお聞きしたが、登山ルートは歩くことはできた。	
2023/7/15	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園） 豊前坊から北の肩	九州北部豪雨の被害の道路状況は、4ヶ所で復旧工事が実施されていたが、片道交互通行で深倉園地までは問題なく車で走れた。 深倉林道は大岩の落石があったが、徒歩による観察は可能であった。	

2023/8/26	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園）： 深倉林道	大南林道は先の九州北部豪雨で非常に荒れていて、徒歩は問題ないが、車通行は不可の状態だった。 ルート上はシカの忌避植物のレモンエゴマ（荳胡麻）とマツカゼソウ（松風草）に加えて、ヒメワラビ（姫蕨）の繁殖地の拡大が本ルートでは目立ってきた。 冬鳥は観察できなかった。 ルート上で特段の問題箇所はなし。
2023/9/12	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園）： 鬼杉～猫の丸尾	冬鳥のツグミとウソが観察された。 このルートは岩の急登や垂直な下りの危険な箇所はあるが、九州豪雨の影響は確認できなかった。 野峠から国道 496 号は通行禁止となっていた。
2023/10/22	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園）： 裏彦から北岳	
2023/11/9	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園）： 鷹ノ巣山	
2023/11/22	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園）： 経読林道 裏彦から北岳	野峠から国道 496 号は通行禁止となっていた。
	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園）：鷹ノ巣山	
	英彦山（耶馬日田英彦山国定公園）：経読林道	



緑の少年団探鳥会

緑の少年団探鳥会指導員

野村芳宏

緑の少年団探鳥指導は、飯塚市立八木山小学校にて 2023 年 4 月 14 日（金）に実施、観察種 17 種。冬は 2024 年 1 月 12 日（金）実施予定、年 2 回実施の計画。参加児童は 1 年生から 6 年生合計 13 名。指導者は、木村直喜、柴田光、佐藤久恵、野村芳宏の 4 名。

探鳥会の様子については実施終了後に、「くまたか」にその都度報告している。子どもたちの環境教育からの観点からも貴重な体験なので来年度も是非活動を継続していきたい。



いづか環境会議（休止中）

担当：後藤ようこ

（編集注：活動休止中につき、報告はありません）

本会活動履歴（参考）

1971年2月14日	飯塚市柏の森で第1回総会、筑豊野鳥の会発会
1971年2月14日	第1回総会で、初代会長に祝原道衛選出
1971年2月14日	松尾節朗入会（現・名誉支部長、発会時からの唯一の会員）
1971年2月14日	第1回探鳥会（18種、14名）
1975年5月1日	会報「野鳥だより・筑豊」創刊号発行
1976年5月	動植物の生態写真展（第1回野鳥展）
1976年	会報印刷用トナー・シャフックス（中古）購入
1977年10月1日	月見会（第1回）
1978年8月20日	室内例会（第1回）
1978年10月15日	筑豊各地でヒヨドリの渡り調査（調査第1回）
1978年	とう写印刷用輪転機購入
1978年5月27日～28日	第1回ヨルヒコ？
1979年真	真鍋直嗣入会（副支部長）
1984年3月10日	亜成鳥の集い（第1回？）
1984年9月23日	ハチクマー斉調査（第1回）
1985年4月29日	シギ・チドリ全国一斉調査（第1回）
1986年4月	梶原剛二入会（支部長）
1986年6月28日	会報「野鳥だより・筑豊」1986年7月号（通巻100号）
1986年12月15日	(財)日本野鳥の会理事会は、本会を筑豊支部として団体加盟承認
1987年2月22日	日本野鳥の会筑豊支部設立総会（「筑豊野鳥の会」名称は存続）
1987年5月30日～31日	財団本部主催・バードソン／川筋男（オープンエントリ）
1987年6月14日	添田町英彦山・深倉峡で参加費（100円）初収受
1987年10月	広塚忠夫入会（現・事務局長）
1987年11月1日	「筑豊地方の野鳥分布図 1987」本会発行
1988年1月15日	ガン・カモ・ハクチョウ類全国一斉調査（第1回）
1988年8月14日	安西英明講演会「野鳥あれこれ鳥ってこんなに楽しいんだ」
1989年2月11日	第1回バスツアー「出水のツルに会いに行こう」
1991年8月11日	事務所開き（直方市市感田）
1993年9月25日～26日	九州・沖縄ブロック大会／直方市畑・直方いこいの村
1993年10月31日	‘93バードソン募金者数部門「コノハズク夜ヒコ」第1位優勝
1994年10月30日	会報「野鳥だより・筑豊」1994年11月号（通巻200号）
1995年8月23日	「英彦山自然観察シリーズ ひこさんの鳥」発行（西日本新聞社刊）
1996年3月2日	支部事務所開き（飯塚市柏の森）
2003年10月26日	会報「野鳥だより・筑豊」2003年11月刊（通巻300号）
2007年3月	「筑豊の野鳥 観察ガイドブック」発行（本会発行）
2009年3月	三浦博嗣入会（副支部長）
2009年4月1日	公式ウェブサイト「くまたか」正式オープン
2010年4月1日	「日本野鳥の会筑豊」に名称変更
2010年5月9日	日本野鳥の会筑豊40周年記念バードソン（CFB1）
2011年5月29日	会報「野鳥だより・筑豊」2011年6月号（通巻400号）
2014年10月12日	SkypeによるWeb会議開始
2015年2月8日	「日本野鳥の会筑豊支部」に名称変更（元に戻した）
2015年2月8日	「くまたか会員」制度開始
2017年5月20日～21日	九州・沖縄ブロック大会／添田町英彦山・英彦山青年の家
2019年8月1日	第100回自然観察会：古処山
2019年9月26日	会報「野鳥だより・筑豊」2019年10月号（通巻500号）
2020年3月8日	第958回例会：英彦山定例探鳥会（コロナ禍により初めて中止）
2021年3月21日	第1000回例会：英彦山定例探鳥会（コロナ禍による中止）
2023年1月10日	1月臨時運営委員会でコロナ禍活動中止は野外探鳥会・観察会を除外 (2024-01-15)

日本野鳥の会筑豊支部 2024年度定期総会資料

発行日：2024年1月22日（PDF・ダウンロード版）／25日（印刷・配送版）

発行者：梶原剛二

発行所：日本野鳥の会筑豊支部（福岡県飯塚市柏の森162-3、<http://yacho.org/>）

構成・編集：編集部（使用フォント：源様明朝 L、源柔ゴシック Medium）